

Tableau Desktopで できること

Public Editionで できること

データを、つなぐ。見えるに、変える。



データをつなぐ
様々なデータソースに接続



データを見る化
直感的な操作でビジュアル分析



インサイトを得る
データから価値ある気づきを



伝える・共有する
分かりやすい形で情報を共有

はじめに、皆さんに問いかかけます

日本で、年間どれくらいの交通事故が起こっているのでしょうか？
警察庁が交通事故統計情報のデータを公開しています。

- 50,000件くらい？
- 100,000件くらい？
- 300,000件くらい？
- 500,000件くらい？
- 1,000,000件くらい？

The screenshot shows the official website of the Japanese National Police Agency (警察庁). The page is titled "交通事故統計情報のオープンデータ" (Traffic Accident Statistics Open Data). It includes a navigation bar with links to "English", "国家公安委員会", "サイトマップ", "Google", and "文字サイズ". Below the navigation bar, there is a section for "交通事故統計情報のオープンデータ" with a sub-section for "概要・利用規約" (Overview and Terms of Use). The page also features a list of links for "オープンデータ" (Open Data) for various years from 2019 to 2024.

警察庁
National Police Agency

English > 国家公安委員会 > サイトマップ Google 検索 文字サイズ 印刷

警察庁について お知らせ 政策 法令 刊行物 各部署から

ホーム > 各部署から > 交通系 > 安全・快適な交通の確保に関する統計等 > 交通事故統計情報のオープンデータ

交通事故統計情報のオープンデータ

「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」（令和2年7月17日閣議決定）に基づき、交通事故統計情報のオープンデータを公開しています。
データの概要、ファイル定義書、各種コード表、利用規約をご理解の上、ご利用ください。

なお、公表しているデータは公開時最新のものです。後日新たな事実が判明した場合等にはデータの修正が行われる場合があります。その際、公開データを修正することはありませんので、別途公表している統計表と相違することがあります。

概要・利用規約

- ・ [交通事故統計データの概要](#)
- ・ [利用規約](#)

オープンデータ

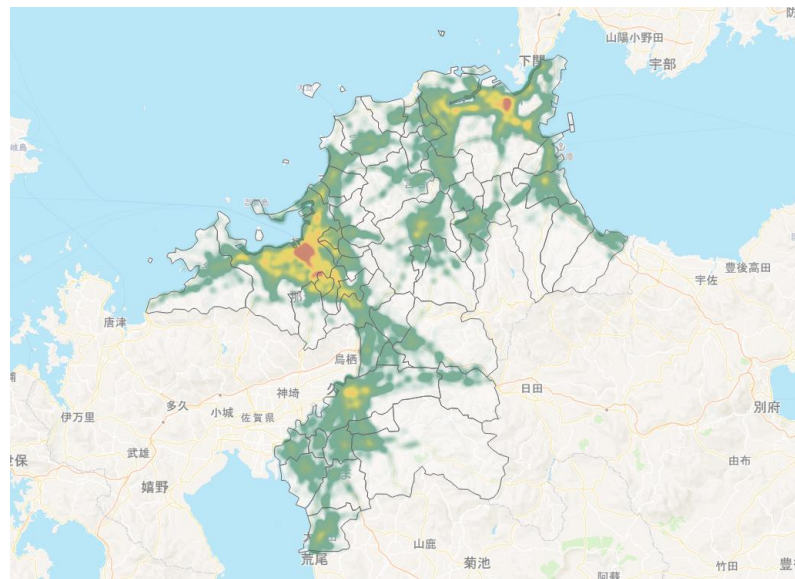
- ・ [2019年（平成31年／令和元年）](#)
- ・ [2020年（令和2年）](#)
- ・ [2021年（令和3年）](#)
- ・ [2022年（令和4年）](#)
- ・ [2023年（令和5年）](#)
- ・ [2024年（令和6年）](#)

オープンデータを利用したツール

その件数、Excelで対応しますか？

警察庁の交通事故統計情報のデータをTableauで可視化・分析してみたところ、以下のようなインサイトを確認できました。では、これを他の都道府県で考えてみたら？死亡事故に限定してみたら？「歩行者の事故」に限定してみたら？

- 福岡県では2024年の1年間で17,416件の事故が起っており、これは都道府県ごとの順位で表すと5位でした。
- 2023年の1年間では20,140件で、前年比+136件であり、また順位は同じく5位でした。
- 県内自治体で考えると、2023年・2024年では久留米市が最も多いですが、2022年以前は福岡市博多区の方が多くなっていました。

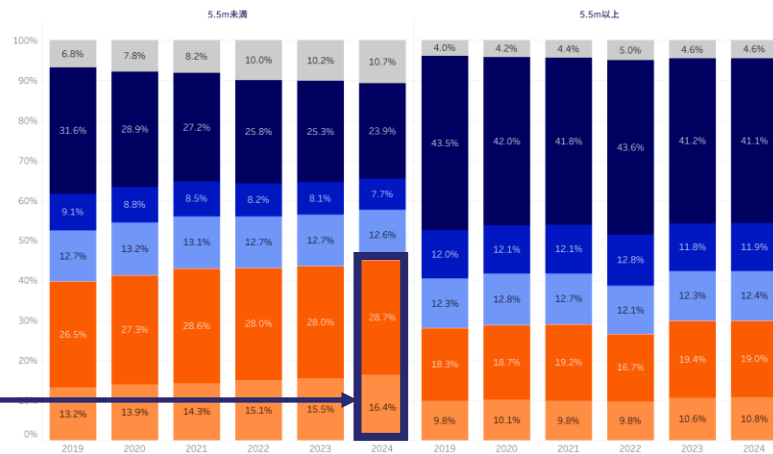


……という文章で、頭に入りますか？

その件数、Excelで対応しますか？

皆さんご承知の通り、9月1日から生活道路（明確な定義はないが、警察庁では主に幅員5.5m未満で中央線がない道路としている）の制限速度が原則30km/hとなる改正道路交通法が施行されました。

- この法改正は、新聞記事によっては「生活道路における歩行者・自転車の事故の割合が高くなっていることによるもの」と報じられていました。
- Tableau Desktopで裏取りをしてみようとグラフ化してみたところ、右図のような結果になりました。
- 幅員5.5m未満の道路・交差点において、2019年では約40%だった割合は、2024年には約45%となっています。



交通事故ダッシュボードは、色々やっている

ここまで紹介したダッシュボード、「私も今日、こんなものを作れるんだ!」と思われたらごめんなさい。
今回のダッシュボードはデモンストレーションのために、Public Editionではできないことを色々やっています。

- Tableau Prep Builderによる元データの整形（数字コードから日本語項目への変換、警察署マスターと交通事故情報の結合など）
- Tableau Prep Builderから出力したHyperファイルのデータソースとしての読み込み



じゃあ、どんなことならできるのさ？

https://help.tableau.com/current/pro/desktop/ja-jp/desktop_comparison.htm

https://mkt.tableau.com/legal/tableau_eula_public.pdf

今日のところは、Tableau Desktop Public Editionは、基本的には「既に整えられたデータソース」を使ってグラフやダッシュボードを作ることができるもの、と認識してください。

- 無料で利用することができる。
- 作成したViz（チャート単体またはダッシュボード）を、Tableau PublicのWebサイトに公開できる。
- Tableau PublicのWebサイトで公開されているデータソースを使って、すぐにViz作成を開始することができる。
(※ベータ版)
- 扱えるデータ量は最大1,500万まで。
- ライブデータの更新に大きな制限（Google Driveのみ、24時間ごと）がある。
- データソースとすることができるファイルやデータベースに大きな制限がある。
- パッケージドワークブック（twbxファイル）を他のユーザーと共有することはできない。
- 商用利用はできない。
- ソフトウェアに対する一切の保証はない。

